

参考資料 / コンセントレーター TC-8F

低温トラップ：溶媒対応一覧

■低温トラップ

遠心式濃縮機によって蒸発させた溶媒が大気中に放出されたり、真空ポンプを壊さないよう、捕集する装置です。有機溶媒のみならず、水でも大量に捕集する場合は必要です。真空度によって、同じ溶媒・温度でも捕集の可否が変わります。



型名		VA-250F			VA-500R			VA-800R			
適応する遠心濃縮機		VC-15S / VC-15SP / VC-36R / VC-96R			VC-36R / VC-96R						
冷却温度		-45℃			-75℃			-70℃			
ガラスコンデンサトラップ容量		約 200mL			約 200mL			約 1000mL			
組み合わせるポンプ		DTC-60	DTU-20	GLD / GCD	DTC-60	DTU-20	GLD / GCD	DTC-60	DTU-20	GLD / GCD	
到達真空度 [Pa]		1000	200	0.67	1000	200	0.67	1000	200	0.67	
低沸点溶媒	アンモニア	沸点 33.5℃	△	△	△	○	△	△	○	△	△
	ジエチルエーテル	沸点 35.0℃	△	×	×	○	△	△	△	△	△
	ギ酸エチル	沸点 54.5℃	×	×	×	△	○	×	△	△	×
	アセトン	沸点 56.0℃	×	×	×	○	○	○	○	○	○
	クロロホルム	沸点 61.0℃	△	△	×	○	○	×	○	○	×
	メタノール	沸点 65.0℃	○	○	×	○	○	△	○	○	△
	ヘキサン	沸点 69.0℃	○	△	×	○	○	×	○	○	×
	トリフルオロ酢酸(TFA)	沸点 72.4℃	△	△	×	○	○	×	○	○	×
	酢酸エチル	沸点 77.0℃	○	△	×	○	○	×	○	○	×
	エタノール	沸点 78.0℃	○	○	×	○	○	×	○	○	×
	ベンゼン	沸点 80.0℃	△	△	×	△	○	×	△	○	×
アセトニトリル	沸点 82.0℃	△	△	×	△	○	×	△	○	×	
水	沸点 100.0℃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
高沸点溶媒	ギ酸	沸点 100.0℃	×	○	×	×	○	×	×	○	×
	トルエン	沸点 111.0℃	×	△	△	×	○	△	×	○	△
	酢酸	沸点 118.0℃	×	○	△	×	○	△	×	○	△
	ブタノール	沸点 118.0℃	×	○	△	×	○	△	×	○	△
	クロロベンゼン	沸点 131.0℃	×	○	△	×	○	△	×	○	△
	ジメチルホルムアミド(DMF)	沸点 153.0℃	×	○	△	×	○	△	×	○	△
	ジメチルスルホキシド(DMSO)	沸点 189.0℃	×	○	△	×	○	△	×	○	△

○: 80%以上の蒸気をトラップ可能【ただしトラップ効率以前に、特に高沸点溶媒では遠心式濃縮機のヒーターを使用しないと時間をかけても濃縮乾燥できない場合あり】  
 △: 混合溶媒では濃縮しきれない場合や、捕集されない場合があります。油回転ポンプで使用するオイルの混濁し、オイル交換を頻繁に行う必要が発生するケースがあります。  
 ×: ほとんどトラップできない、もしくは安全上薦めできない

コンセントレーター TC-8F

減圧と加熱にさらに攪拌を加えて濃縮を促進する、試験管用の濃縮装置です。リム付き試験管専用。

特長と用途

- リム付き試験管×8本で濃縮
- 強力な傘型偏芯震動で、8本の試験管を均一に攪拌
- 溶媒で抽出した分析試料の濃縮
- 糖タンパク質・糖鎖・ペプチド等の濃縮乾燥

攪拌機能について

強力な傘型偏芯振動を備えます。試料溶液を攪拌することで蒸発面積を増大し、濃縮乾燥を促進します。

リム付き試験管をまとめて濃縮

8本のリム付き試験管をテフロン製吸盤力セットに密着させ、まとめて減圧します。8本未満での使用はできません。



型名	TC-8F
使用温度範囲	~+60℃
温度調節精度	±0.2~0.3℃
試料攪拌	傘型偏芯震動(無段変速式)
試験管架数	8本(8本未満では使用不可) (*)
ヒーター	150W
外形寸法/総質量	190×285×355Hmm / 約10.5kg
電源	AC100V・2A
標準付属品	試験管アダプターリング(φ17.5~18mm)×8 試験管(φ17.5mm×130Lmm)×20 蝶ナット×1、試験管置台×1、水受けゴム×1
価格	¥514,000



(\*)市販の試験管を使用する場合、8本とも同一のリム形状および外径のものをご使用ください。  
 ●減圧用のポンプが別途必要です。Q-1以外の適合するポンプについては、お問い合わせください。

在庫限り